

中心拠点病院における 事業報告

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター・小児科
柳田紀之 佐藤さくら 海老澤元宏

小児アレルギー中心拠点病院における研修プログラム

A: アレルギー疾患に関する全般的な最新の基礎知識を得る

B: 都道府県拠点病院で実践するアレルギー診療の基礎を学ぶ

C・D: 小児アレルギー診療のエキスパートを目指す（施設独自プログラム）

目標
レベル

期間

内容

A

短期
数日

座学と実習による知識の習得
(例) 総合アレルギー講習会、相模原セミナー、各施設での見学

B

中期
2週間

二週間程度で、疾患別に習得する
(例) 食物アレルギー: プリック、パッチ、食物負荷試験、栄養指導
気管支喘息: 肺機能検査、評価、治療
アトピー性皮膚炎: スキンケア指導

C・D

長期
年単位

C: レジデントとして勤務し、総合的なアレルギー疾患に習熟する
(例) 気管支鏡、経口免疫療法など
D: 日本の将来における小児アレルギー学の指導者育成
臨床研究・論文発表・学位取得・海外留学のサポート

●アレルギー疾患医療の均てん化を目指し開始するのは、レベルBの研修

●レベルC・Dの研修については、中心拠点病院独自にシステムを構築、募集

レベルB研修プログラム(食物アレルギー)

●診断

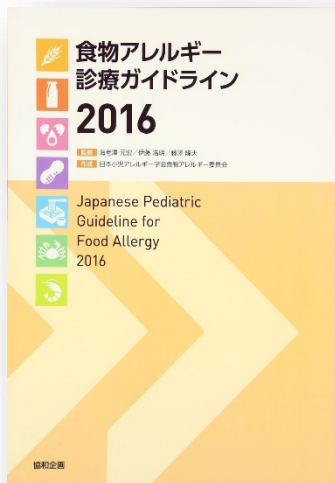
- ✓血液検査の解釈
- ✓パッチテスト(※)
- ✓プリックテスト
- ✓経口負荷試験
基本的な実施方法
結果の解釈

●管理

- ✓栄養指導(見学)
除去食・代替食
- ✓管理指導表の記載
- ✓除去期の生活指導
- ✓エピペン指導
- ✓解除過程の見学
- ✓シックデイ対応

●先進的な取り組み

- ✓経口免疫療法(見学)



※皮膚科との連携により実施

レベルB研修プログラム(アトピー性皮膚炎)

●診断

- ✓血液検査の解釈
- ✓重症度評価



日本皮膚科学会ガイドライン

アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2018

表3 Eczema Area and Severity Index (EASI) による重症度評価法

皮疹の面積:

それぞれの体の部位全体に皮疹がある場合を100%として、下表のように0から6点で採点する

皮疹面積 (%)	0	1-9%	10-29%	30-49%	50-69%	70-89%	90-100%
面積スコア	0	1	2	3	4	5	6

皮疹の重症度: それぞれの徴候の程度を0から3点で評価

0	なし
1	軽度
2	中等度
3	重度

- ✓ それぞれの病変部の平均的重症度とする
- ✓ 中間の値 (1.5 と 2.5) は使用可能であるが、0.5は用いない。

重症度評価の方法

●治療

- ✓生活管理・環境整備
- ✓スキンケア
- ✓薬物療法
外用薬・内服薬



スキンケアの実際

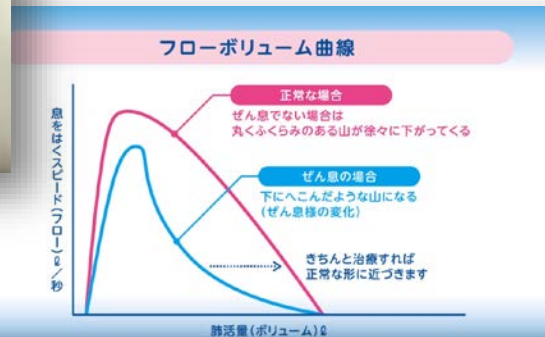
レベルB研修プログラム(気管支喘息)

●診断

- ✓ 肺機能検査
 - スパイロ(可逆性も)
 - 気道抵抗検査
 - 気道過敏性(見学)
 - 呼気一酸化窒素
 - 運動負荷試験
- ✓ 重症度分類
- ✓ 慢性咳嗽の鑑別

●治療

- ✓ 生活管理・環境整備
- ✓ 管理指導表の記載
- ✓ JPGLに従った薬物療法
 - 年齢による吸入器具
- ✓ 免疫療法(見学)



レベルB研修プログラム (アレルギー性鼻炎、その他)

アレルギー性鼻炎

●診断(※)

- ✓血液・鼻中検査の解釈
- ✓重症度分類
- ✓時期による抗原検討

●治療

- ✓生活管理・環境整備
- ✓薬物療法
外用薬・内服薬
- ✓免疫療法(見学)



災害対応関連

●日常的な活動

- ✓保護者への指導
- ✓医療者への対応
- ✓備蓄
- ✓ネットワーク作り

●発災後の活動

- ✓特殊栄養食品の提供
- ✓避難所での対応
- ✓行政との連携
- ✓ネットワークの活用

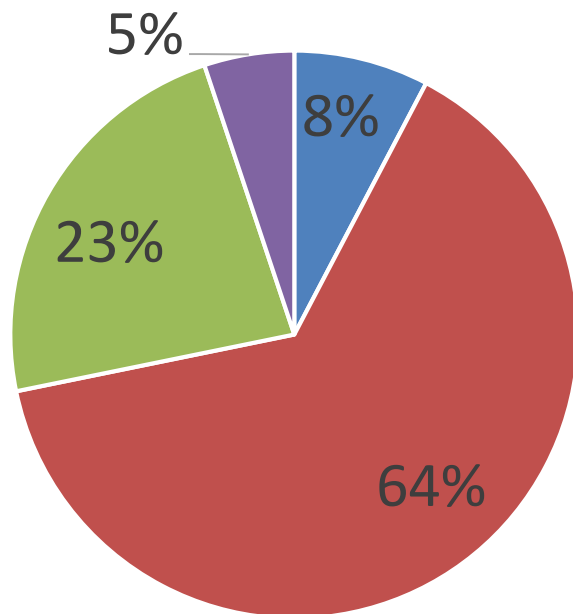


※耳鼻科との
連携により実施

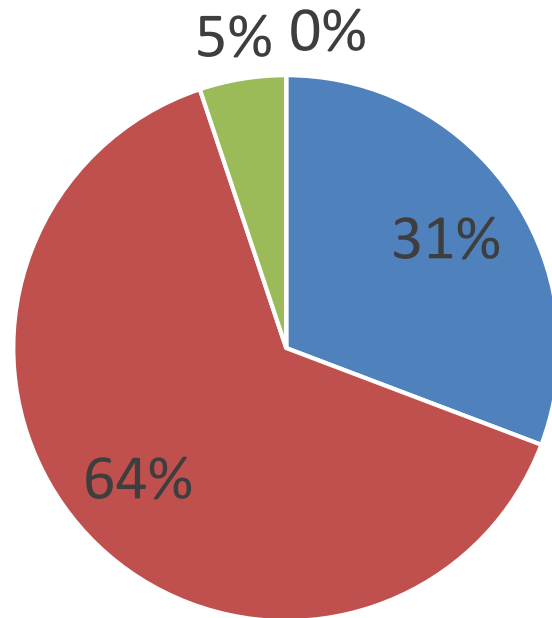
学習到達度の変化 (研修開始前・終了後)

研修生A

研修開始前



終了後

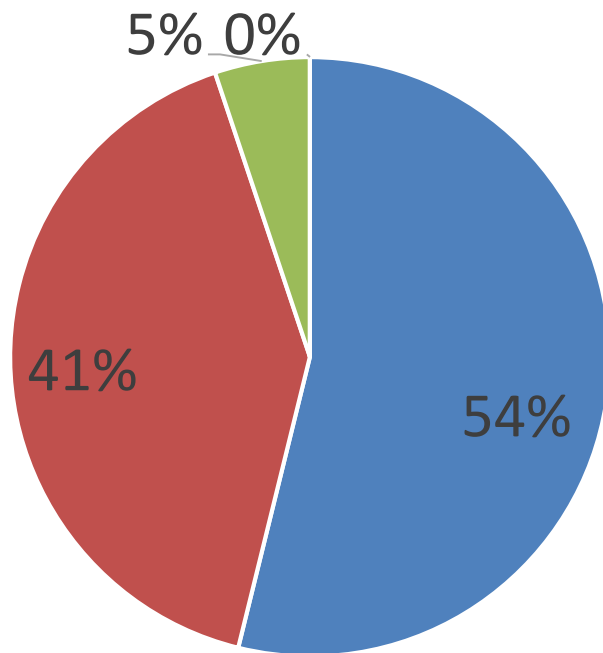


■ できる ■ 少しできる ■ 少しできない ■ できない

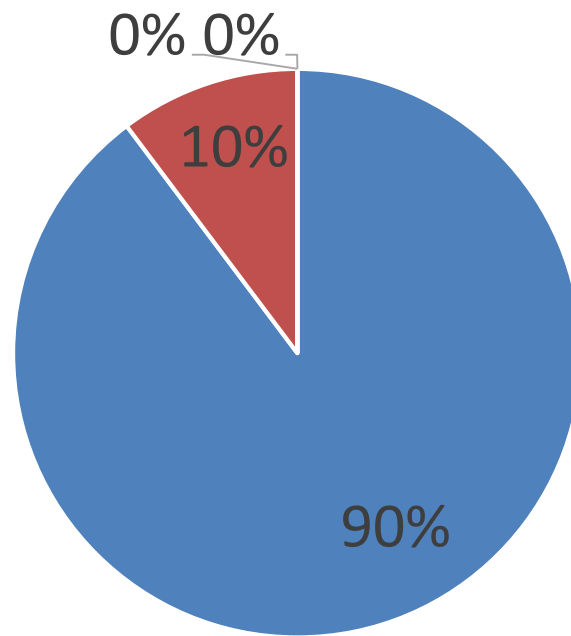
学習到達度の変化 (研修開始前・終了後)

研修生B

研修開始前



終了後



■ できる ■ 少しできる ■ 少しできない ■ できない

研修用テキスト

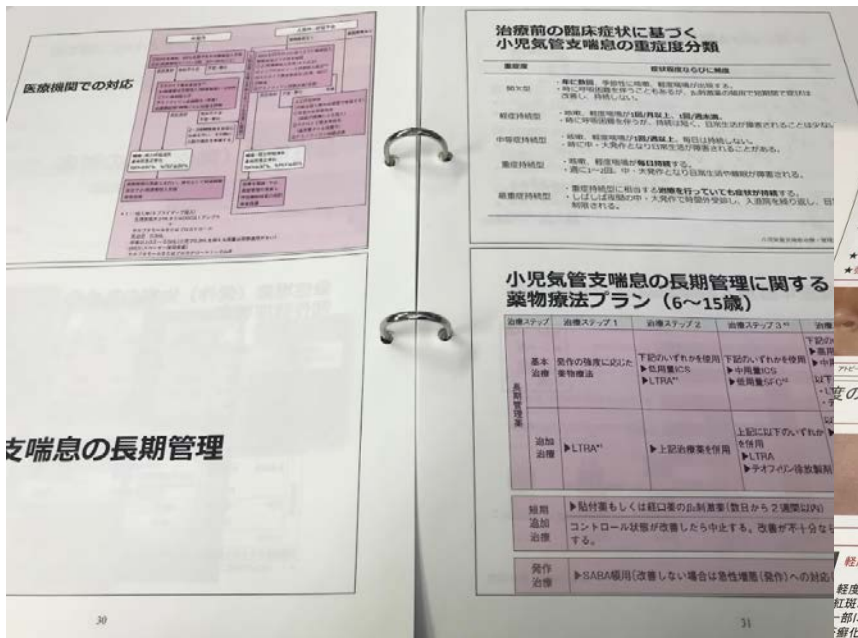
第2回

小児アレルギー スキルアップコース

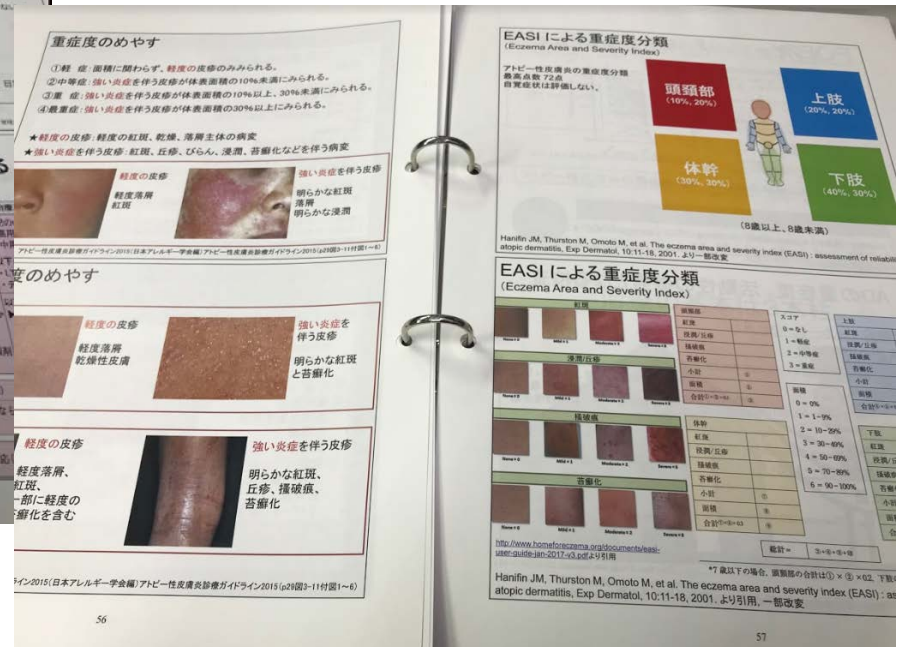
Pediatric Allergy Skill Up Course (PASCO)



- ✓ 日本小児アレルギー学会と連携
- ✓ 共通の研修用テキストを使用
- ✓ +α 施設独自の資料を提供



気管支喘息テキスト



アトピー性皮膚炎テキスト

研修内容の報告

- 2019年9月 兵庫県1名、静岡県1名

1週目

	月	火	水	木	金
		8:00～診療カンファレンス		8:00～研究カンファレンス (9月第1週は休み)	
AM	9:00～ 施設案内 (事務担当者) 10:00～ 研修開始	食物経口負荷試験の見学 ・実施方法 ・結果の解釈 栄養食事指導 ※経口免疫療法、皮下免疫療法		アレルギー専門外来の見学 ・アトピー性皮膚炎(診断・治療) ・食物アレルギー(診断・管理) ・気管支喘息(診断・治療) ・アレルギー性鼻炎(治療) ※舌下免疫療法	
PM	食物経口負荷試験の見学 ・実施方法 ・結果の解釈 栄養食事指導 ※舌下免疫療法		学童外来の見学 ・気管支喘息(治療) ・呼吸機能検査 ・アレルギー性鼻炎(治療)	アレルギー専門外来の見学 ・アトピー性皮膚炎(診断・治療) ・食物アレルギー(診断・管理) ・気管支喘息(診断・治療) ・エピペン指導	食物経口負荷試験の見学 ・実施方法 ・結果の解釈
				17:00～アレルギー初診カンファレンス	

研修内容の報告

- 講義 各疾患の基本・栄養食事指導の実際・臨床研究関連
- 他科連携 耳鼻科・皮膚科・(成人アレルギー)

2週目

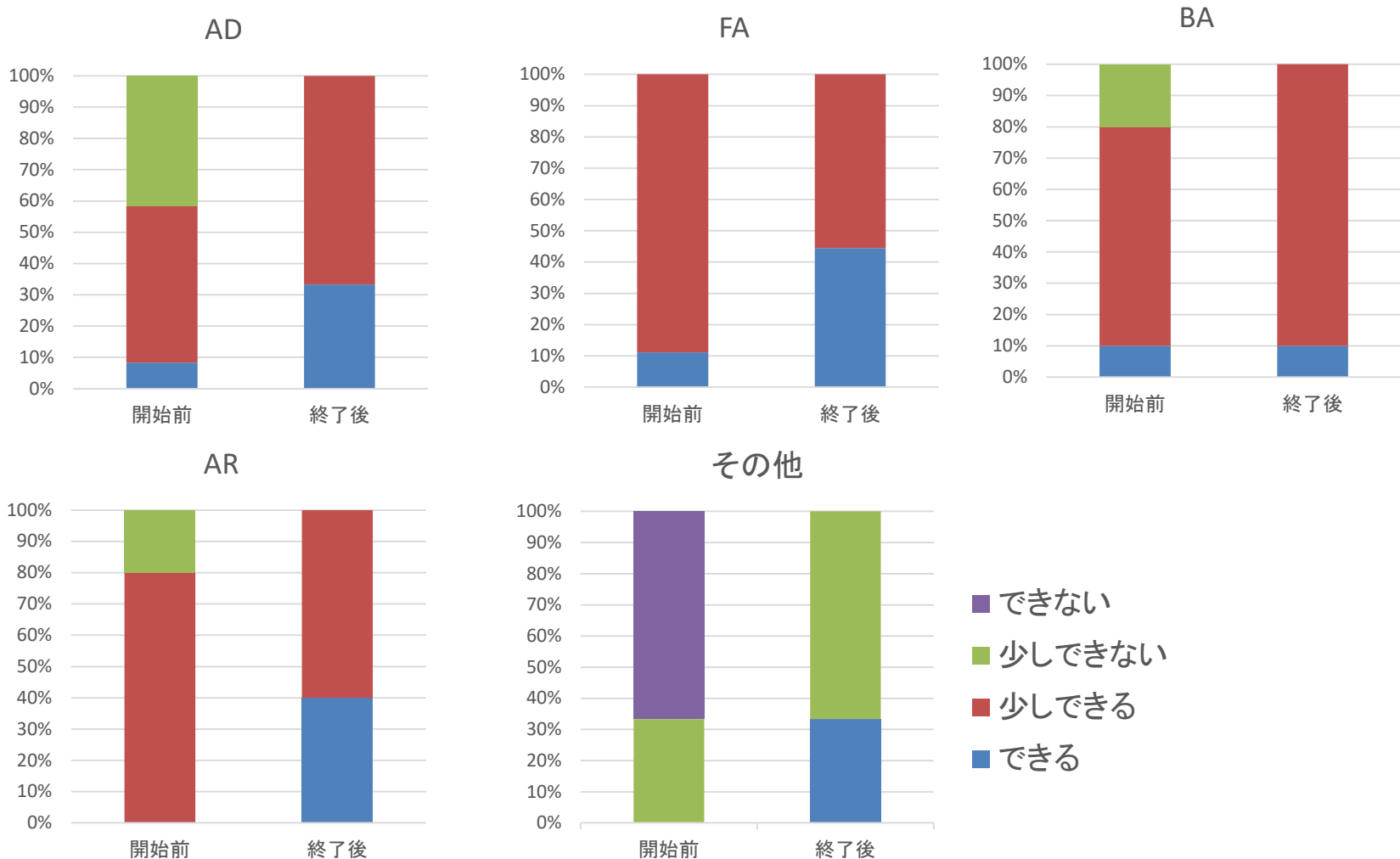
	月	火	水	木	金
		8:00~診療カンファレンス			8:00~研究カンファレンス (9月第1週は休み)
AM	食物経口負荷試験の見学 ・実施方法 ・結果の解釈 栄養食事指導 ※経口免疫療法、皮下免疫療法			アレルギー専門外来の見学 ・アトピー性皮膚炎 (診断・治療) ・食物アレルギー (診断・管理) ・気管支喘息 (診断・治療) ・アレルギー性鼻炎 (治療) ※舌下免疫療法	
PM	食物経口負荷試験の見学 ・実施方法 ・結果の解釈 栄養食事指導 ※舌下免疫療法		学童外来の見学 ・気管支喘息 (治療) ・呼吸機能検査 ・アレルギー性鼻炎 (治療)	アレルギー専門外来の見学 ・アトピー性皮膚炎 (診断・治療) ・食物アレルギー (診断・管理) ・気管支喘息 (診断・治療) ※エピペン指導	総括
				アレルギー初診カンファレンス	修了証明書授与 (事務)

学習到達度の評価

- 研修開始前・終了後・半年後に下記の4段階で評価
1:できる、2:少しできる、3:少しできない、4:できない
- アトピー性皮膚炎 12項目
- 食物アレルギー・アナフィラキシー 9項目
- 気管支喘息 10項目
- アレルギー性鼻炎 5項目
- その他 3項目

学習到達度の変化 (研修開始前・終了後)

研修生A



学習到達度の変化 (研修開始前・終了後)

研修生B

